

につぼんがある場所

鳥取へ

後編

「これからは、ねずみ男流に生きてみませんか？」

鳥取県出身のショッパ―編集担当者が地元を歩いた旅日記。後編は県西部です。

何もかも妖怪だらけの町

妖怪の町・境港を訪れようと、米子駅の0(霊)番ホームに向かうと「ねこ娘」

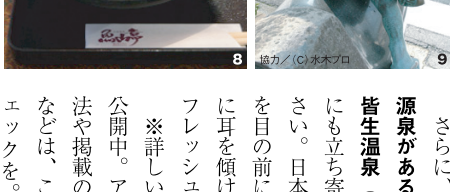
「何かも」が描かれた、ド派手な車両(写真4)が待っていました。外観だけでなく内部もねこ娘だらけです。30分ほど播られて到着、迎えてくれたのは「ねずみ男」(写真1)でした。「失手」な生き方が注目

「豊富な海産物」「塩の湯」の温泉も

「何もかも」が描かれた、ド派手な車両(写真4)が待っていました。外観だけでなく内部もねこ娘だらけです。30分ほど播られて到着、迎えてくれたのは「ねずみ男」(写真1)でした。「失手」な生き方が注目

「豊富な海産物」「塩の湯」の温泉も

「豊富な海産物」「塩の湯」の温泉も



鳥取県名古屋事務所 (中区栄 中日ビル4階) 電話052・262・5411 または、県観光政策課 (電話0857・26・7237) へ。 http://shopper.chunichi.co.jp

中日新聞社発行「ショッパー」掲載(2008年4月24日号)